

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児聴覚障害 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 月1	教室名	603
担 当 教 員	青木弥穂	実務経験と その関連資格	難聴幼児施設で言語聴覚士として勤務経験			
《授業科目における学習内容》						
聴覚障害児のハビリテーションについて学習する。 言語・コミュニケーションの評価、聴覚評価、指導方法について解説する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(70%)、課題(20%)、グループ学習(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
聴覚障害学(医学書院) 言語聴覚士のための聴覚障害学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
教科書該当範囲を熟読すること、各回講義にノートをまとめる。授業終了後に示す課題を実施すること。						
《履修に当たっての留意点》						
小児の発達過程をよく理解しておくこと。教科書を読んで、講義に臨むこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	小児聴覚障害の特性と内容を理解し、説明できる	教科書・資料	(復習課題) 耳の構造・機能・病態・聴性行動発達について復習する	
		各コマにおける授業予定	小児聴覚障害の概要、聴覚の発達と病態			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の歴史について、説明できる	教科書・資料	(予習課題) 聴覚障害のハビリテーションについて調べる	
		各コマにおける授業予定	難聴児の教育の歴史			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天性聴覚障害児のハビリテーションの内容を理解し、説明できる	教科書・資料	(予習課題) 難聴と言語機能について調べる	
		各コマにおける授業予定	小児聴覚障害とハビリテーション			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	難聴による言語コミュニケーションについて説明できる	教科書・資料	(予習課題) 聴覚検査、聴覚評価について教科書を読む	
		各コマにおける授業予定	難聴と言語機能			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の聴覚活用と聴覚ハビリテーションの内容について説明できる	教科書・資料	(予習課題) 聴覚障害の病態、評価について復習する。	
		各コマにおける授業予定	聴覚ハビリテーション			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の言語ハビリテーションの内容について説明できる	教科書・資料	(予習課題)発達を理解し、言語機能の評価について教科書を読む
		各コマにおける授業予定	言語ハビリテーション①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の言語課題を考えることができる	教科書・資料	(予習課題)発達を理解し、言語機能の評価について教科書を読む
		各コマにおける授業予定	言語ハビリテーション②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の発声発語訓練の内容を理解できる	教科書・資料	(予習課題)難聴児の発語について教科書を読む
		各コマにおける授業予定	発声・発語ハビリテーション		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の発声発語訓練の教材作成ができる	教科書・資料	(復習課題)発声・発語について教材・教示法を復習する
		各コマにおける授業予定	発声・発語ハビリテーション		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児期の情緒社会性について学び、ハビリテーションの内容を立案できる	教科書・資料	(予習課題)ハビリテーションプログラムを立案するための評価項目について調べる
		各コマにおける授業予定	情緒社会性評価・ハビリテーションプログラムの立案		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳児期の発達を理解し、その学習方法について説明できる	教科書・資料	(復習課題)乳児の発達段階についてまとめる
		各コマにおける授業予定	発達段階と学習方法(乳児期)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	幼児期の発達を理解し、その学習方法について説明できる	教科書・資料	(復習課題)幼児の発達段階についてまとめる
		各コマにおける授業予定	発達段階と学習方法(幼児期)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児期から就学までのハビリテーションについて、考えることができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害児のライフステージについて教科書を読む
		各コマにおける授業予定	ライフステージでのハビリテーションの展望		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	保護者支援、環境調整等について考えることができる	教科書・資料	(復習課題)総括に向けてIの内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	保護者支援		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	Iを通して学んだことをまとめ、発表することができる	教科書・資料	(復習課題)小児聴覚障害Iについて復習する
		各コマにおける授業予定	総括		